

研究便り

豊平区・清田区研究実践園

札幌市立かっこう幼稚園・認定こども園にじいろ 合同号（第1号） 令和5年6月30日発行

～札幌市の幼児教育施設全体の質の高い教育・保育の実現のために～

札幌市立幼稚園・認定こども園では、幼児のよりよい育ちのために日々研究・研修を積み重ね“研究実践園”として、その成果をお便りやHP、地域公開保育等を通して発信しております。

また、札幌市教育委員会では、**札幌市の幼児教育を取り巻く状況や特徴、課題**を受け、令和2年5月に市立幼稚園の今後の在り方及び**札幌市の幼児教育に関する方向性**を示す「**市立幼稚園の今後の在り方に関する方針**」（以下、「**方針**」という。）を策定しました。研究実践園では、「**方針**」の基本政策と関連した**テーマ**で研究に取り組んでいます。

多様な教育・保育環境
(長時間保育の実践)



遊びを通した
幼児期の学び



5つのテーマの保育実践研究
札幌市の幼児教育を取り巻く状況、特徴、課題から



質の高い幼児教育の実現に向けて
つながる ひろがる
札幌市の幼児教育

特別支援教育



家庭教育支援



幼保小連携
・接続

研究テーマ『副主題』	研究実践園
多様な保育・教育環境～長時間保育の実践～ 『多様な教育・保育環境における幼児期にふさわしい生活のために』	(豊平区) かっこう幼稚園
	(清田区) 認定こども園にじいろ
遊びを通した幼児期の学び 『遊びを通した幼児期の学びとは』	(白石区) きくすいもとまち幼稚園
	(厚別区) あつべつきた幼稚園
特別支援教育 『一人一人に寄り添い、共に育ち合う集団づくりのために』	(西区) はまなす幼稚園
	(手稲区) 手稲中央幼稚園
幼保小接続 『幼保小連携・接続のよりよい推進のために』	(北区) 白楊幼稚園
	(東区) ひがしなえぼ幼稚園
家庭教育支援 『園と家庭が一体となって子どもの育ちを支えるために』	(中央区) 中央幼稚園
	(南区) もいわ幼稚園



幼児教育センターホームページでは、研究実践園の取組をご紹介します。

<https://www.city.sapporo.jp/kyoiku/youjikyoubu/youenn/kennkyuu.html>



～豊平区・清田区研究実践園 合同研究事業～

札幌市立かっこう幼稚園（豊平区）・認定こども園にじいろ（清田区）では、研究テーマ（副主題）を『多様な教育・保育環境における幼児期にふさわしい生活のために』～長時間保育の実践～として、令和4年度から2区合同で研究を進めております。（3年計画）

2年目の今年は、昨年度の研究の成果・課題を受け、「こんな子どもに育てほしい」という2区共通の願いのもと、『研究の重点』を下記のように設定しました。

『研究の重点』（2区共通）

「心を動かし、思いをもって遊び込む幼児を育むための
保育者の援助・環境の構成について探る」

また、研究の推進にあたっては、研究アドバイザー（下記参照）のご助言・ご指導をいただく機会をもちながら、子どもの見取りや保育者の援助について理解を深めていきたいと考えております。

○研究アドバイザー（2区共通）

札幌国際大学 人文学部心理学科子ども心理専攻
教授 木村 彰子



☆ここからは、豊平区・清田区研究実践園の取組についてご紹介します！

【豊平区研究実践園 札幌市立かっこう幼稚園】

♡ハートフル・とよひら



本園は、通常の“教育時間”と“預かり保育時間”を含めた園生活が幼児期にふさわしい生活となることを目指し、実践研究に取り組んでいます。特に、預かり保育を利用する子どもたちにとっては、園で過ごす時間が長時間に渡るため、預かり保育時間（通称“にこにこタイム”）は、家庭的な雰囲気や異年齢児が触れ合って過ごせる環境・生活づくりを大切にしています。また、子どもの様子や保育環境について、教諭と預かり専任保育士が情報交換したり、直接話し合う機会を設けたりして連携を図り、教育時間や預かり保育時間の保育に生かせるように努めています。今回は、その取組の一部をご紹介します。

『ハンバーガーごっこ』～預かり保育時間～（4月下旬）

教育時間に年中組が“ハンバーガー屋ごっこ”を楽しんでいた姿に刺激を受けた預かりの子どもたち。そこで預かりの保育士が、別店舗の“ハンバーガー屋ごっこ”の遊びを誘い掛けました。教育時間では見ていただけの子どもたちが、ポテトやバーガーなど品物作りに取り組んだり、職員室にいる先生たちにチケットを配ったりなど、張り切って取り組む姿が見られました。



『アドバイザー研修』（6月14日）

テーマ：『教育時間や預かり保育時間の遊び・生活について』

研究アドバイザーの木村先生を講師に、『アドバイザー研修』を行いました。預かり専任保育士も参加し、午前中の保育場面と、午後の「にこにこタイム」の様子の動画を見ながら、子どもの見取り（心情など）や保育者の関わりについて話し合いました。

<話合から>

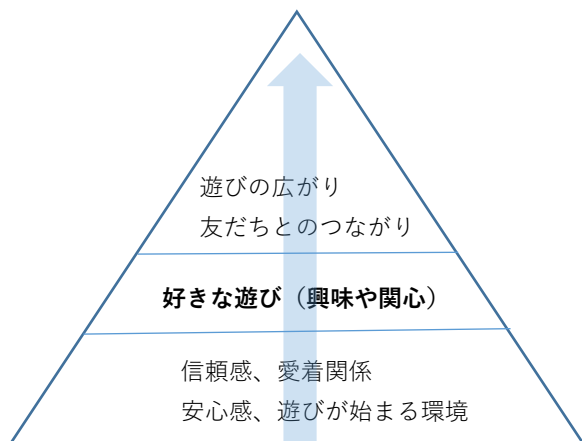
◇教育時間では…

- ・子どもの遊びへの思いを強める援助は？
（“自分でできた” “自分のもの” と思える関わり／工夫や考えて遊ぶ場・状況づくり／子ども同士で思いを重ねられる仲立ち）

◇預かり保育時間では…

- ・教育時間では見られない子どもの表情、遊びへの取り組み方が見られることも。
- ・のんびりで子ども同士がきょうだいのように触れ合う雰囲気がよい。教育時間と活動が違っていても、“経験”はつながっているのではないか。（「○○して楽しかった」など）





本園では、幼稚園児、保育園児、預かり保育など多様な保育環境にある子どもたちの園生活が幼児期にふさわしい生活となるための実践研究を進めています。

朝や夕方の時間の遊び(長時間保育)や家庭での経験がクラス活動(教育時間)の遊びにどのように生かされているのか、子どもたちの遊びや興味・関心を幅広い視点で読み取り、園生活が充実する環境・生活づくりを工夫しています。

今年度は、遊びが始まるきっかけとなる「興味や関心」に注目し、研究を進めているところです。



子どもたちがどんなことにおもしろさや楽しさを感じているのか、子どもたちの姿を見取り、職員間でどのように情報共有していくのか、また、好きな遊びを十分に楽しめるための環境構成の見直し(場所の使い方、物の設定の仕方、共通ルールなど)を考えていきます。

認定こども園のため、0～5歳児の子どもたちが生活をしています。3～5歳児の遊びの様子を中心に事例研究を進めていきますが、0～2歳児も研究重点に沿った遊びの検討をクラス間で行い、研究だよりを通じて発信し、さらに実践を積み重ねていきます。



今年度は、2区合同で下記に取り組み、研究を進めていきます。

事例研究

各園での事例研究に参加し、長時間保育を含めた実践事例の検討と情報共有を行います。

アドバイザー研修

各園の保育を見合い、子どもの見取り、保育者の援助について考えていきます。

公開保育

各園の保育や研究実践について、幼稚園・保育園・認定こども園、小学校に発信します。

取り組みの内容は、研究だよりで発信をしていきます。